

平成25年度事業報告書

自 平成25年4月 1日
至 平成26年3月31日

社会福祉法人 全国心身障害児福祉財団

目 次

1	全国療育相談センター事業	1
2	児童発達支援センター「中央愛児園」	2
3	国庫補助事業	3
4	J K A補助事業	3
5	日本宝くじ協会助成事業	7
6	福祉医療機構助成事業	7

平成25年度においては、当財団最大の懸案であった旧早稲田ビルの耐震問題の解決のため、平成25年9月末に、耐震性を備えた豊島区南大塚の現在のビルに移転した。

移転引越にあたっては、財団職員が一丸となって取り組み、また、入居する関係諸団体の全面的な協力を得て、円滑に行ったところである。

こうした中で、移転期間の一時中断期間を除き、事業の効率化を図りつつ、障害児の福祉の向上と共生社会への理解促進を基本的目標に、当財団及び関係団体は以下の通り各事業を実施した。

1 全国療育相談センター事業

全国療育相談センターにおいては関係機関との連携のもと、自閉症児、精神発達遅滞児等を対象に、医療・心理・言語・福祉の面からの療育相談を延9,388名に、また臨床検査等を延1,082件実施した。

また、地域の歯科医療機関で治療を受けることが困難な重度障害児(者)の歯科治療を、東京都の補助及び新宿区の委託事業として東京医科歯科大学の協力のもと、全身麻酔法、笑気吸入鎮静法等の方法を用いて延2,376名に行った。

全国療育相談センター一年間総受診・検査数

診療科目	受診者数	臨床検査	件数
小児神経科	218	脳波検査	216
児童精神科	3,029	心電図検査	35
小児科	2,026	血液検査	366
		尿検査	180
小計	5,273	ぎょう虫検査	66
心理	593	心理テスト	219
言語	27		
リハビリ(P T)	230		
リハビリ(O T)	680		
リハビリ(S T)	730		
リハビリ(心理)	235		
福祉	1,620		
小計	4,115		
合計	9,388	合計	1,082

2 児童発達支援センター「中央愛児園」事業

平成25年度から医療型児童発達支援センターから発達支援センター(福祉型)に移行し、従来と同様、就学前の精神・運動発達遅滞児、ダウン症児等を対象に、機能訓練及び言語訓練等を実施し、その内容を日常保育に生かして発達を促進した。

また、保護者に対し、日常介護指導などを実施した。

なお、年間の障害別及び年齢別在籍人員は次表のとおりである。

ア 通所児童の月別入・退園状況

入退園状況		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
通所児童	入園	2	0	1	2	0	2	1	1	2	3	1	1	16
	退園	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	6	7
	月末現在	38	38	39	41	41	43	44	45	46	49	50	45	
退園の理由										※1			※2	
延人員		268	261	238	274	205	171	240	229	205	214	225	201	2731

※1 転居1名 ※2 他施設2名 就学2名 その他2名

イ 障害別人員

(H26.3.1現在)

障害名 人員	ダウン症	身体・精神 発達遅滞	発達障害	
	男	33	3	1
女	12	0	1	
計	45	3	2	

ウ 年齢別人員

(H26.3.1現在)

年齢別 人員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	計
	男	3	2	9	10	8	4	1
女	1	0	2	3	1	5	1	13
計	4	2	11	13	9	9	2	50

また、地域内の就学前幼児及び障害児を対象におもちゃの図書館「あいじえん」を月2回開設し、遊び場を提供、広く地域支援に努めた。

3. 国庫補助事業

在宅心身障害児(者)療育事業等

(1) 在宅心身障害児(者)療育相談事業（関係団体と合同実施）

在宅の障害児(者)及び保護者に対し、医師、ケースワーカー等の療育に関する専門家並びに障害児を育てた経験豊かな保護者による相談及び療育指導を行うとともに、児童相談所、福祉事務所、更生相談所、医療機関など関係機関への斡旋及び連絡等を行った。

(2) 在宅心身障害児(者)療育研修事業（関係団体実施）

家庭における障害児(者)の療育、生活援助に役立つ知識・技術習得のための専門家による講義及び実技指導を内容とした保護者研修会を30回、ボランティア研修会を10回全国各地で行った。

(3) 母子家庭等自立促進基盤事業（関係団体実施）

母子家庭の母親及び寡婦を対象として、その自立促進を計るためのブロック別研修会を開催するとともに、就労に必要な情報提供を行った。

(4) 親子ふれあい療育キャンプ事業（関係団体実施）

障害のある子供との日常的な関わりが少ない父親との体験交流を中心に、障害別及び障害の垣根を越えた合同の療育キャンプを40回実施し、親と子の絆を深めた。

4. J K A 補助事業

法人格を有さない団体に対して支援を行うことを本来事業の目的とする活動補助事業

(1) 療育相談事業

全国療育相談センターに来所する障害児及び家族を対象に、医師及び専門家による診断助言を210回開催し1,314名に対し適切な療育指導を実施した。

また、療育指導書「気になる子どもの支援ハンドブックⅡ(学習事例編)」(A4版205頁)を3,000部作成し全国の特別支援学校・障害児関係施設をはじめ、各都道府県・指定都市・中核市の特別支援教育主管課等に配布した。

(2) 治療訓練事業

自閉症を中心として、火曜日・木曜日・金曜日の3グループをつくり医師・専門家による集団治療訓練を児童に実施し、並行して保護者に対しても療育カウンセリングを行い115日(延1,306人)の児童・保護者に対し実施した。

(3) 指導誌(紙)の発行事業(関係団体実施)

在宅心身障害児(者)の保護者相互の交流を深めるためのさまざまな情報や日常必要な療育知識を掲載した会報を9誌、指導誌を1誌父母団体別に作成し、保護者及び関係機関に配布した。

(4) 無料検診事業(関係団体実施)

医療面だけでなく教育面をも含めた総合的な療育相談が必要な障害児(者)とその保護者に対し、専門家による講演を交えた治療教育相談会を全国4会場で開催するとともに、障害児を育てた経験豊かな保護者を相談員として委嘱し、年間72回(延217人)の相談に応じた。

(5) 集団指導(療育キャンプ)事業(関係団体実施)

集団生活が困難な障害児(者)に対し、集団生活になじめるよう、家族も参加して適切な指導のもとに1泊2日を7回の日程で障害別の集団療育キャンプを実施した。

(6) 社会適応講座事業(関係団体実施)

病弱虚弱児に対し、社会適応、職場適応のための講習会を全国5会場で開催した。

(7) スポーツ振興事業(関係団体実施)

聴覚障害生徒及び視覚障害生徒の体位の向上と健全育成を図るためのスポーツ

大会を下記の通り開催した。

① 全国盲学校野球大会の開催(視覚障害生徒スポーツ振興)

平成25年8月21日～23日 金沢市営専光寺ソフトボール場(石川県金沢市)

② 全国聾学校卓球大会の開催(聴覚障害生徒スポーツ振興)

平成25年10月4日～5日 鳴門・大塚アミノバリューホール(徳島県鳴門市)

③ 全国聾学校陸上競技大会の開催(聴覚障害生徒スポーツ振興)

平成25年11月7日～9日 駒沢オリンピック公園総合運動場(東京都世田谷区)

(8) 障害児(者)父母団体地域指導者養成研修会の開催事業

地域レベルでの障害児(者)父母団体の連携を促すための指導者研修及び競輪への理解を深めるための競輪講座を下記3か所で開催した。

開催県	開催場所	日程	参加者数
青森県	青森競輪場	平成25年9月6日～7日	22名
大阪府	岸和田競輪場	平成25年12月13日～14日	20名
東京都	京王閣競輪場	平成26年1月24日～25日	27名
計			69名

(9) 発達障害幼児に対する早期支援事業

発達障害の早期発見と早期支援を行うため、全国にある保育所・幼稚園の中から特定の保育所・幼稚園を3地域を指定し、医療・福祉・教育等の専門家チームによる訪問支援活動を実施するとともに、保育士・教諭に対して専門性向上のための研修会を合せて開催した。

また支援活動を実施した3地域にある幼稚園・保育所等の園児・保護者を対象とした「子育て支援フェスタ」を開催した。

< 訪問支援活動 >

実施地域 (実施園)	実施回数	参加児童数 (対象児)	指導員及び 教職員数	参加者合計
東京都 (三鷹市立中原保育園)	3回	336名 (9名)	69名	405名
岡山県 (倉敷市玉島保育園)	3回	99名 (12名)	36名	135名
鹿児島県 (福)聖隷福祉事業団春日保育所)	3回	73名 (4名)	39名	112名
合 計	9回	508名 (25名)	144名	652名

< 園内研修会 >

実施地域	実施回数	参加者数
東京都	3回	143名
岡山県	3回	134名
鹿児島県	3回	105名
合 計	9回	382名

< 子育て支援フェスタ >

実施地域	開催日	開催場所	来場者数
東京都	平成26年1月19日	三鷹市芸術文化センター	240名
岡山県	平成26年1月25日	玉島市民交流センター	230名
鹿児島県	平成25年11月17日	龍郷町りゅうゆう館	400名
計			870名

その他、子育てを支援するための「子育て支援情報誌」を3回作成し、全国の保育所

- ・ 幼稚園、子育て支援センター等に配布した。

No.7 特集 子どもの「みる」とは

No.8 特集 子どもの「きく」とは

No.9 特集 子どもの「はなす」とは

(10) 被災者支援キャンプ事業（関係団体実施）

震災の影響により集団指導(療育キャンプ)事業が行えない地域に属する障害児(者)及び家族対象に国立オリンピック記念青少年センター(東京都)にて行った。

(11) 難聴児の親のための研修会（関係団体実施）

難聴児を持つ親に対し、聴覚障害に関わる専門家や成人した聴覚障害者による聴覚障害の正しい知識・理解を習得させ、聴覚児の生活環境を整えるための研修会を全国4ヶ所で開催した。

5. 日本宝くじ協会助成事業

宝くじドリームジャンボ絵本の作成・配布事業

幼児を対象にした「おもいやり」と「やさしさ」そして「勇気」の心を育てるための「宝くじドリームジャンボ絵本」を1,400セット作成し、全国の障害児保育を実施する保育所を対象に配布した。

6. 社会福祉振興助成事業（福祉医療機構助成）

東北被災地の障害児担当保育者への支援事業

東日本大震災被災地で震災により精神的ストレスを抱えた発達障害児など「気になる子ども」への対応を支援するため、保育者及び保護者を対象とした専門家による研修会を岩手県・宮城県・福島県で開催し、併せてその取り組みを当財団のホームページで全国に配信した。

また、子どもの心のケアと発達障害児に対する理解・啓発イベント（絵本の読み聞かせ会）も併せて開催した。

実施地域 [協力団体]	実施会場	参加者数	イベント会場	参加者数
岩手県 [(福)花巻保健福祉会]	花巻市交流会館	129名	花巻市文化会館	131名
宮城県 [(福)北杜福祉会]	泉チェリー保育園 のびすく泉中央	175名	イズミティ21	145名
福島県 [(福)梁川保育会]	梁川保育園	112名	伊達市ふるさと会	110名
参加者合計		416名		386名